

報道機関各位

令和 7 年 7 月 30 日

!

6 年ぶりに芦屋にやってくる

～「東の天明・西の芦屋」時代を超えた青少年交流事業～

豊かな心の醸成をはかり、心身ともに健全で社会性のある人格形成をめざす

茶の湯釜の名器として知られる「天明釜」と「芦屋釜」。同じ歴史文化をもつ栃木県佐野市と芦屋町では、小学 5 年生から中学 2 年生を対象に平成 6 年度から青少年交流事業を行っています。「茶の湯釜」という歴史的に共通した文化をもつ市町と交流することにより、相互理解を深め、それぞれの故郷を見つめなおします。この事業では交互に佐野市と芦屋町を訪問する形をとっています。しかし令和 2 年から 5 年は新型コロナウイルス感染症の影響や台風の影響で行うことができませんでした。昨年、ようやく再開することができ、今年 6 年ぶりに芦屋町で実施することができます。

芦屋町ならではのプログラム

栃木県には海がないため、芦屋町で実施する年は海をおもいっきり感じることができるプログラムを行います。今年は、塩づくりや漁船乗船体験、海でのシュノーケリング体験などを行います。

もちろん、この交流事業のきっかけでもある、「芦屋釜」を味わうプログラムもあります。

令和 6 年 11 月にリニューアルオープンした芦屋釜の里では、体験お茶会や鋳物印鑑づくりを行います。さらに重要文化財である「芦屋霰地真形釜（あしやあられじしんなりがま）」の見学を行い、芦屋釜の特徴を学び、天明釜との違いを感じることができます。

問い合わせ先

【芦屋町役場】生涯学習課 社会教育係 担当：小竹 ☎093-223-3546